

第384回三木市議会定例会 市長 開会あいさつ

令和6年11月27日

議会の開会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は、第384回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆さまにおかれましては、公私ご多用の中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、平素から市政の運営につきまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

先ほど、市議会定例会の開会に合わせて、市制施行70周年を記念し、本市で初めて「議場コンサート」が開催されました。市民等で構成される5組の方々に演奏いただき、市制施行70周年に花を添えていただきました。観覧された方々をはじめ、議員の皆様や私たち、市の出席者も素晴らしい演奏に聴き入り、普段の議場とは異なる感動的な雰囲気になりました。これを機に、より一層議会が身近な存在となるとともに、市政に対してさらに関心を深めていただきたいと思います。

さて、今年19日、防災庁等の誘致についての要望書を赤澤内閣府特命担当大臣に手渡しました。この要望は、「防災庁の西日本の拠点を神戸周辺に設置すること」及び「広域かつ甚大な災害が発生したときに、現地対策本部等の機能を担う基幹的広域防災拠点を三木総合防災公園に設置するとともに、同公園に防災関係の研修・研究機関を設置すること」を求めるものです。本市は、兵庫県広域防災センターやE-ディフェンス（実大三次元震動破壊実験施設）、E-アイソレーション（実大免震試験機）がある防災のまちとして、以前から防災関連施設の誘致に取り組んでまいりました。また、来年1月で阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えます。震災の記憶を継承し、教訓を生かすなど、本市は防災拠点の機能を担うポテンシャルを有しています。今後も、防災のまち三木として、防災庁等の誘致に取り組んでまいります。

また、今年20日に総合教育会議を開催し、市としましては吉川地域における施設一体型小中一貫校の学校用地を県立吉川高校とする方針を決定しました。施設一体型小中一貫校の設置については、昨年5月に、まずは吉川地域に設置する方針を決定し、これまで地域協議会や教職員部会において協議を重ねてま

いりました。このたび、複数の検討すべき用地の中から総合的に判断した結果、県立吉川高校が学校用地としての適性が最も高いと判断しました。今後は、兵庫県に対して申し入れを行ってまいります。子どもたちに、学力をはじめ、共に生きる力、健やかな心と体を育むため、施設一体型小中一貫校を設置し、より質の高い教育を実現したいと考えています。すべての子どもたちがふるさと三木を愛し、子どもや子育て世代が集うまちづくりを進め、我が子の教育は三木で受けさせたいと思っただけできるよう、取り組んでまいります。

さらに、明日、すべての市立公民館のWi-Fi環境の整備工事が完了し、来月上旬からWi-Fiの利用を開始します。Wi-Fi環境の整備により、オンライン講座の実施や来館者がスマートフォンを利用しやすい環境とするほか、公民館でオンラインによる行政手続のサポートができる環境とするとともに、スマートフォンの利用が不慣れな方を対象とするスマホ教室にも活用し、地域のデジタル化を推進します。デジタルデバインド（情報格差）の解消にも取り組み、誰一人取り残さないデジタル化を推進してまいります。

今月2日、3日には、市制施行70周年記念三木金物まつり2024を開催しました。2日は、あいにくの天候により気象警報が発令され、やむなく開催時間を短縮しましたが、3日は天気も回復し、多くの方に来場いただき、2日間で8万5千人の方に来場いただきました。当日は、メイン会場である「三木山総合公園」に加え、「三木市役所周辺」、「かじやの里メッセみき」などで、多彩なイベントを開催しました。今年は、市制施行70周年を記念し、丸太切り競争やパターチャレンジなども行い、イベントがさらに盛り上がりました。また、石川県珠洲市の事業者5者を招待した復興支援物産展を開催し、地場製品の販売を通じて、能登半島地震及び豪雨災害により甚大な被害を受けた被災地の支援も行いました。

このたびの市議会定例会は、専決処分の報告1件、条例関係2件、総合計画関係1件、市道路線の認定1件、指定管理者の指定8件、補正予算関係5件、合わせて18件の提案を予定しております。

また、後日、条例関係3件、補正予算関係7件、財産の取得1件、人事案件1件の提案を予定しております。

議員の皆さまにおかれましては、どうか慎重なるご審議をいただき、ご賛同を賜りますようお願い申し上げます、開会のあいさつといたします。